

平成 29年度

研究・実践報告集

まちだの実践

第45号



東京都立町田の丘学園

目次

はじめに

I 今年度の研究活動

今年度のA部門の研究について	4
小学部	9
中学部	25
高等部	39
訪問の研究報告	50
自立活動部の研究報告	56
A部門公開研のまとめ	62
今年度のB部門の研究について	63
小学部	66
中学部	77
高等部	89
B部門公開研のまとめ	113

II 本校の特色ある取組

日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業	115
特別支援学校における芸術教育の推進事業	116
特別支援学校における社会貢献活動モデル事業	118
職業教育の充実事業	119
宿泊防災訓練実施報告	120
外部専門員活用報告（両部門）	121
センター的機能の報告	124

III 資料編

キャリア教育推進委員会（全体計画）	130
進路指導部（見学先と活動内容）	131
研究研修部 教材集	133
教育情報部 ICT活用事例集	152
医療的ケア委員会	173
今年度の研修一覧	174

おわりに

はじめに

校長 村野一臣

平成29年度は、本校舎と仮設校舎の山崎校舎との両校舎での教育活動が3年目となりました。両校舎での学習条件も更に整い、児童・生徒また教職員が落ち着いた環境の中で、充実した教育活動を展開しています。山崎校舎は、東京都及び町田市の全面協力の下、山崎保育園東側に新しいグラウンドが完成するとともに、山崎校舎前のグラウンドの土の入れ替えと畑の整備を行いました。いよいよ次年度からの改築工事が始まります。本校舎では、整理・整頓に心掛け、工事の準備を進めています。

学校規模としては、本校校舎の肢体不自由教育部門小中高等部18学級（内訪問学級3学級）49名、知的障害教育部門高等部22学級151名、山崎校舎の知的障害教育部門小中学部37学級164名、364名となり、昨年度3学級、児童・生徒数18名、減少しました。（平成29年5月1日現在）

さて、本年度の研究活動ですが、「児童・生徒の自ら学ぶ姿勢の育成を目指した授業づくり～活動分析を活かした指導と評価を通して～」を全校テーマとした3か年計画の2年目となりました。この研究では、活動分析（課題分析）を切り口に、児童・生徒に応じたスモール・ステップの指導を行い、それに基づく評価を行い、具体的な指導の手立てについて研究し授業改善を進めています。併せて、新学習指導要領が昨年4月に公示されたことを受けて、学習指導要領に示された育成すべき資質・能力、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善及び評価などを加味しながら研究を進めました。

山崎校舎の知的障害教育部門では、全校テーマを受け、小学部では、アクティブラーニングと活動分析、中学部では、評価の観点整理と活動分析表の観点から、国語・数学、作業学習において活動分析、工程分析を生かした授業研究を進めてきました。小学部の集団での活動分析表は、独創的な発想であるもののなお工夫が必要です。また、中学部では、学習指導要領に基づき評価規準表を作成しました。この一年で、児童・生徒が自ら動けるための観点整理が進み、若手の教員の成長も見られました。

本校舎の肢体不自由教育部門は、テーマを「適切な児童・生徒理解に基づく授業づくり」とし、活動分析表を活用した授業改善の観点整理を行った授業を行いました。新学習指導要領を意識し、活動分析表を活用したPDCAサイクルによる授業実践を行いました。重度の児童・生徒の意欲と達成感を高めるためのきめ細かな支援が参観者からの評価を受けたところです。また、知的障害教育部門高等部では、工程分析を基盤に「分かって動けること」を目指した作業学習を「農芸班・ハンドワーク班」を中心に全作業班で手順書に基づく事例検討を行いました。改善前と改善後を分析することでより自ら動けるよう工夫してきました。

研究活動の2年目として、活動分析を理解し、指導の手立てについて協議が深められと思います。活動分析の手法を理解することで、日々の授業実践をも深まることを期待した

いとの参観者からの声がありました。次年度は、3年目のまとめの年となります。「自ら学ぶ姿勢を育成する授業改善の在り方」についてまとめを行っていきたいと考えています。

この「まちだの実践」は、1年間各学部各部門が取り組んできた教育実践を東京都教育委員会や外部専門家等の先生方に多くの御指導・御助言をいただきまとめたものです。これまで関係していただきました、助言者及び関係者の皆様に感謝申し上げるとともに、今後とも御指導・御助言をお願いします。是非、御一読いただき、忌たんのない御意見、御指導・御助言をいただけると幸いです。

I 今年度の研究活動

今年度の A 部門の研究について

小学部

中学部

高等部

訪問の研究報告

自立活動部の研究報告

A 部門公開研のまとめ

今年度の B 部門の研究について

小学部

中学部

高等部

B 部門公開研のまとめ